



# 地域医療連携室だより

## かながわこども医療ネット

神奈川県立こども医療センター 医療情報公開システム

「かながわこども医療ネット」は連携先の医療機関に、こども医療センターの電子カルテ情報(処方歴、注射歴、検査結果、画像)をインターネット経由で公開するシステムです。

### かながわこども医療ネットイメージ



- 連携先医療機関を随時受け付けています。申込みは地域医療連携室までご連絡下さい。
- 閲覧にはネットワークの連携患者さんの同意が必要になります。

## 【紹介予約受診システム】



※ 紹介状の添付資料(画像やフィルム等)も紹介状と併せて事前にお送りください。  
※ 紹介状用紙(料金受取人払)の送付をご希望の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。

## 【当センターフォロー中の患者さんの急患受診】

まずは、かかりつけの医療機関、休日急患診療所や夜間急病センター等で受診していただき、必要に応じて医師から当センター担当医宛に電話でご連絡ください。医師からの連絡が難しい場合は、患者さんから直接担当医に電話連絡をして下さい。

※ 事前にご連絡をいただけない場合、受診出来ないことがありますので、ご注意ください。  
※ 救急外来の診療は担当医ではなく、救急外来担当医が行う場合もあります。

## こども医療センターを支える皆様へ感謝

事務局長 八尋 有造



昨年4月、事務局長に就任しました八尋有造と申します。どうぞよろしくお願いいたします。地域医療機関の皆様には、日頃より当センターが推進する地域医療連携の取組にご理解ご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

地域の中で個々に役割を担う医療機関と地域医療支援病院との連携は、切れ目ない医療の提供や在宅医療を促進するために益々重要となっています。そのため神奈川県病院機構では、第3期中期計画で「地域の医療機関等との機能分化・連携強化」に取り組むとともに、当センターでも「診療・医療技術の向上支援」など連携体制の整備を進めているところです。昨年度は9,353件の患者紹介を地域医療機関からいただき、今年度は更に増加する見込みです。患者の診療情報をインターネットで閲覧する「かながわこども医療ネット」についても、引き続き利用促進に取り組んでまいります。

さて、当センターには340床の小児専門病院と90床の障害児入所施設があり、29の専門診療科、9の医療技術部門、看護局、施設等が相互に連携してチーム医療を行うとともに、地域連携・家族支援局が地域医療機関との橋渡しを行っています。

また、入院・入所中の子どもたちが通学する神奈川県立横浜南養護学校がセンター内に併設されており、子どもの病状や体調、学習の進捗などに合わせて、様々な工夫による指導や支援が行われています。

事務局では、こうした様々な機能と役割を担うセンターの運営について、総務課、経営企画課、医事課の3課体制で業務に取り組んでおり、患者ご家族からの声にお応えしているところです。今後は、皆様の期待に応えられるように、より一層のサービス向上に努めてまいります。

そして、当センターは、数多くの民間団体やグループによって支えられています。患者・家族滞在施設「リラのいえ」を運営するNPOスマイルオブキッズさん、ボランティアの皆さんの集まりオレンジクラブさん、ファシリテイドッグを派遣いただくNPOシャインオンキッズさんなど、これらの皆様との連携のもとに病院は運営されています。

地域医療機関の皆様、支援団体の皆様、こども医療センターをこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



## ボランティア団体「オレンジクラブ」の活動

ボランティアコーディネーター 加藤 悦與



当センターには、ボランティア団体「オレンジクラブ」があります。センター設立5年後から47年活動を続けています。2005年に、更にボランティアを積極的に受け入れ、ボランティアが自主的な活動が出来るようにしていくために、専任のボランティアコーディネーターが配属されました。私は2代目です。

「オレンジクラブ」は、園芸・作業・手芸・患者図書など28のグループがあり、300人以上の方が活動しています。3月春、正面玄関にはつるし雛がたくさん飾られています。外来では、オレンジ色のエプロンを掛けてベビーカーの手配や迷子の世話もしています。診察を終えたお子さんに折り紙作品のご褒美があり、ピアノ演奏が聞こえてきます。

今はコロナ禍で活動に制限はありますが、「できない」で止まってはけません。ボランティアの皆さんは創造する力を持っていて、対面での活動が出来なくなるとお話しはオンラインに切り替えました。きょうだい児が病院に来られなくなると、きょうだいさんの為にご家族と一緒に遊べるキットを作りお土産にして、変化に対応しています。

「びょういんがゆうえんちならいいなあ。」と以前入院しているお子さんが話しておりました。辛い治療を受けながらも、いつも楽しい事を探していたことを時々思い出します。

遊園地とはいきませんが、病院に来た方に「病院じゃないようですね。」とよく言われます。

「あなたの元気と笑顔のために」をモットーにボランティアの皆さんは活動しています。専門職でない地域の一般市民の皆さんが、こども医療センターを温かく下さっています。



## 「病児家族の支援」第二のわが家を提供

認定NPO法人スマイルオブキッズ理事/患者・滞在施設「リラのいえ」施設長

佐伯 トシコ



県立こども医療センターには遠方から高度・先進医療を求めて訪れるご家族も多くいます。私は1970年センターの開設当初から勤務する中でそのようなご家族の事を知り近隣に住む自分に何かできる事があるのではと思いつき、芹が谷1丁目の自宅2階3室を専用施設「よこはまファミリーハウス」として建築し1999年1月より提供を始めました。

そんな経緯から、センターと共にご家族がより近くで安心して日常生活を過ごせる滞在施設の設立を目指しました。一般の皆様より8500万円の建築資金を募り、県有地をお借りし2008年6月に「リラのいえ」(認定NPO法人スマイルオブキッズ運営)を設立しました。増築を経て、現在個室は11室あり、365日50名以上のスタッフの協力の下、センターとの連携もあり順調に活動しています。

利用者の県内外の割合は半々位で、市内の方でも状況によって利用は可能です。小児がんなど難病といわれる珍しい病気でも「リラのいえ」に来てみると、同じ境遇の家族の交流もあり自分だけではないという想いになるようです。

法人のもう一つの事業として、センターを受診される病児のきょうだい児保育を行っています。ボランティア団体「オレンジクラブ」との連絡会を定期開催し、きょうだい児の心のケアや親御さんが安心して病児に関わるための大切な事業となっています。



## アニーとのふれあい — 事務室編

副事務局長 剣持 道子



センターの事務室には事務職員のデスクのほかに総長や病院長などの部屋と「アニーのお部屋」があります。

アニーは、当センターの2代目ファシリテイドッグとして日々病棟を回り、患者さんに寄り添い、治療がうまく進むようお手伝いをしています。病棟に行く前は、感染予防のため全身清拭をして、ベストを着て颯爽と出かけて行きます。

患者さんの前では、吠えない、怒らない、なが〜いまつ毛のぱっちりお目で優しく見守っているアニーも、事務室に戻ってくると、甘えんぼさんになり、職員のおそばに来て、「撫でて〜」と見つめるんです。

職員も実はアニーとのふれあいを楽しんでいるのかも…。これからも患者さんのために頑張るね!!


## 2022年度 地域の医療機関向け研修 予定

【研修】

問合せ：地域医療連携室

研修名	開催予定日	時間	対象者	内容
小児科セミナー	9月3日(土) 4日(日)	午後 午前	小児科志望の初期研修中の医師、若手小児科医師、地域医療機関の医師	2日間かけて各科の専門分野を講義 *会場受講、オンライン受講の選択可 *有料(資料代等¥5,000) *2022年度の詳細・申し込み方法は7月頃よりHPに掲載予定。
胎児遠隔症例報告会	4月22日(金) 7月29日(金) 10月28日(金) 1月27日(金)	17時30分 19時30分	地域医療機関の小児科、産科従事者	遠隔会議システムを利用した胎児の症例報告会 自施設でインターネットが繋がる環境があれば参加できます。

問合せ：退院・在宅支援室

研修名	対象者	内容
小児医療ケア実技研修会	地域の医療機関等の看護師 又は 地域の全ての支援者向け	2022年度 詳細・申し込み方法は HPをご覧ください。  2次元バーコード
小児の在宅医療を支える支援者交流会		
在宅医・小児科医・地域連携カンファレンス		

問合せ：地域医療連携室

【動画研修】

研修名	対象者	内容
地域医療支援事業研修会 【乳幼児健診支援】 「日常小児科臨床に役立つ外科系診療の“ツボ”」 	地域の医療機関従事者 院内職員  2次元バーコード	①小児の鼠径ヘルニア - 外科 新聞 真人医師 - ②乳児の血管腫、母斑の診断と治療 - 皮膚科 馬場 直子医師 - ③乳幼児健診で小児科医に見てほしい歯の診察ポイント - 歯科 成瀬 正啓医師 - ④先天性股関節脱臼 - 整形外科 百瀬 たか子医師 - ⑤乳幼児健診で小児科医にみてほしい耳鼻科疾患 - 耳鼻いんこう科 稲毛 まな医師 / 坪倉 杏奈医師 - 言語聴覚科 佐藤 麻友子言語聴覚士 -

問合せ：母子保健推進室

研修名	対象者	内容
こども医療センター新生児科医師による 偏食外来に関する動画研修 (神奈川県小児保健協会ホームページより) 	こどもの偏食にお困りの方  2次元バーコード	母乳育児とアレルギー 偏食にどう対処する？(動画) うちの子はただの偏食？(動画) 偏食外来パンフレット0解説1「食べない理由」 偏食外来パンフレット0解説2「実践編」 偏食外来パンフレット2(解説1) 偏食外来パンフレット2(解説2) 子どもが食べないのは親のせいではありません